

市川市立図書館のメールマガジンをお送りいたします。

「メールでのサービス」で配信をご希望された方へお送りしています。

□ ■ □ —————
■ □ ■ 市川市立図書館メールマガジン 第 75 号 2015.4.20
□ ■ □ —————

市川市民が発起人となって開催している「市川・荷風忌」は、今年で 7 回目を迎えます。市川を終焉の地とした文豪・永井荷風の生誕 130 年・没後 50 年にあたる 2009（平成 21）年から毎年開催されているものです。中央図書館では、「市川・荷風忌」に先立ち、入りロゲート前のガラスケースで、関連する資料を展示しています。『瀬東綺譚』の荷風自筆原稿複製、木村莊八挿画の『瀬東綺譚画譜』のほか、映画「瀬東綺譚」のパンフレットやチラシ、台本なども展示中。どうぞご覧ください。

■ ■ 図書館からのお知らせ □ -----

◆ 中央、行徳、市川駅南口図書館は GW 期間も開館します。

○ 4 月 25 日から 5 月 6 日までのゴールデンウィーク期間中、この 3 館は 4 月 27 日（月）、30 日（月末館内整理日）を除きすべて開館しています。なお、5 月 7 日（木）は振替で全館休館となりますのでご注意ください。

図書館の開館カレンダーはこちら

<http://www.city.ichikawa.lg.jp/library/info/1052.html#04>

◆ 「はるかぜえほんの会」を開催します！

○ 開催日時 平成 27 年 4 月 25 日（土）午後 2 時～2 時 30 分

○ 場所 中央図書館内こどもとしょかん くつろぎ広場

○ 対象 3 才～

○ 申込み 事前申込みなし。自由参加（当日 5 分前にこどもとしょかん集合）

○ 子ども読書の日（4 月 23 日）にちなみ、大型絵本やパネルシアター、紙芝居など、いつものえほんの会を拡大した形の「はるかぜえほんの会」を開催いたします。暖かい春の日差しの中、ご家族一緒にのんびりと絵本を楽しんでみませんか。

◆第7回市川・荷風忌開催のお知らせ

永井荷風は1946（昭和21）年に市川へ移り住み、1959（昭和34）年4月30日、79年の生涯を閉じました。この日にちなみ、生涯学習センターでは、5月3日に「市川・荷風忌」を開催します。

○開催日時 平成27年5月3日（日・祝）午後2時30分～4時50分
（開場は午後2時）

○場所 生涯学習センター2階 グリーンスタジオ

○申込み 事前申込み不要。先着220名。（無料）

○イベントのプログラムは、市民有志による朗読「湊東綺譚」「二笑亭綺譚」、東京文化財研究所副所長・田中淳氏の講演「木村荘八の描いた東京」、作家・吉井道郎氏のトーク「戦後ジャーナリズムのうねり」となっています。皆様のご来場をお待ちしています。

「市川・荷風忌」の詳細はこちら

<http://www.city.ichikawa.lg.jp/cul06/1111000232.html>

「市川ゆかりの作家・永井荷風」のページはこちら

<http://www.city.ichikawa.lg.jp/library/db/1051.html>

■ ■ ■ 本の基礎知識「文学忌」 □ -----

○主に作家の命日を、その雅号やペンネーム、代表作などにちなんで呼び、その文学的な業績を偲ぶ日を「文学忌」といいます。

○例えば、代表作にちなむ忌日としては、芥川龍之介「河童忌」（7月24日）、梶井基次郎「檸檬忌」（3月24日）、太宰治「桜桃忌」（6月19日）、司馬遼太郎「菜の花忌」（2月12日）などが有名です。

○明治の文豪・幸田露伴は、露伴は自分の家を「かたつむりの家（蝸牛庵）」と呼び、やどかりのように幾度となく住まいを変えています。その終焉の地は市川の菅野で、命日は1947年（昭和22）年7月30日ですが、「露伴忌」というよりは「蝸牛忌」として知られています。荷風が、早くから露伴を敬愛していたことは知られており、戦後、同じ市川に住む作家同士ということで対談も企画されましたが、実現にはいたりませんでした。1947（昭和22）年8月2日の露伴の葬儀の折りに、荷風は門外にたたずみ、弔意を表したエピソードは有名です。

.....

◇メールマガジンの登録・解除はこちら

<https://opac.city.ichikawa.chiba.jp/winj/opac/top.do>

◇このメールは自動配信されています。このアドレスに返信いただいても内容の確認およびご返答ができません。ご了承ください。

市川市中央図書館

〒272-0015 千葉県市川市鬼高 1-1-4 047-320-3346
